

北東北「おざってたんせ」の心をはぐくむ 秋田観光振興フォーラムin仙北～日本一の観光地を目指して～



「秋田観光振興フォーラムin仙北」が4月27日、角館榊細工伝承館を会場に開催され、約200人が参加しました。

秋田公立美術工芸短期大学学長の石川好氏を講師に迎え「いざ発信！おざってたんせの心」と題した基調講演に続き「日本一の観光地を目指して」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

石川氏がコーディネーターを務め、(株)ANA総合研究所社長の浜田健一郎氏、山崎事務所所長の山崎養世氏、(株)イメージニア代表取締役の神蔵孝之氏、JR東日本秋田支社長の横山裕司氏らがパネリストとして参加。「観光資源はまだまだまだたくさんあるはず。気づかない点など、発想の切り替えが必要」、「これから中国からの観光客の増が見込まれる。中国語での

案内等を今から準備するべき」「駅から武家屋敷までに、期待させるような雰囲気づくりが必要」など、さまざまな角度、視点から意見が出されました。

かたくり館の和紙工房で

和紙の原料楮(コウゾ)の木の皮むき

4月8日にオープンした「かたくり館」の和紙工房で「鎌足和紙の会」(会長・佐々木茂徳)の会員のみなさんが、和紙の原料となる楮(コウゾ)の木の皮むきを行いました。

昨年秋に収穫したコウゾの木を釜で蒸しあげると、まだ熱い枝をとり慣れた手つきで次々と皮をむいていきました。

むいた皮は、ゴミや汚れを取り乾燥させた後、また釜で煮て軟らかくしたものを叩いて繊維を細かくして水に溶かして漉くという工程を経て和紙が作られます。

和紙工房では、前日までに予約していただくと1人500円で和紙漉きの体験ができます。手作りの和紙にチャレンジしてみませんか！(連絡先 TEL47-3535)



まだ湯気が立つコウゾの木の皮をむく会員のみなさん

カヌーでのんびり川下り 東北ファースト・ランin玉川

角館町の松木内川(古城橋下流)から、大仙市長野大橋までの約9キロの川をカヌーで下る「東北ファースト・ランin玉川」(主催・秋田県カヌー協会)が5月14日に開催されました。

このイベントは、旧角館町と旧中仙町が「さくら」をテーマに交流を図る「さくらワールド」の桜花賞カヌー大会としてスタート、今年から名称を変えたもので、今回で16回目の開催となります。

レースというよりは川下りを楽しむ和気あいの雰囲気、家族連れやゴムボートで出場する人など58人が参加。春一番の川下りを楽しんでいました。



新緑の桜並木の松木内川を一斉スタート